

中学生が親善大使に ひと役

〜米国デウィット市訪問〜

市 国では、姉妹都市提携を結んでいる外、この各都市と学生間交流を進めてきています。今回は、14名の生徒が米国デウィット市を訪問、1月9日に甲賀市を出発し、16日までホームステイしました。生徒たちは、中学校で授業に参加したり、市役所や消防署を見学したりと、貴重な経験をしました。アメリカの生徒とは片言の英語やジェスチャーなどで意思疎通し、どんな仲良くなつていきました。

また、アメリカの家庭では、家族みんなが家事を分担すること、生徒たちは服装や持ち物などが自由な反面、行動に責任が伴っていることなど、文化の違いを自分の目で学んでいました。



▲デウィットの中学校で授業を受ける生徒たち

陶芸作家に挑戦

〜雲井保育園やきもの体験〜

雲

井保育園児が1月27日、信楽焼の陶器作りを体験しました。

この日は、地元の陶芸家の方の指導で、園児一人ひとりが自分たちのクラス名の、「ぞう」と「きりん」を作成、園児は手のひらを泥だらけにしながら一生懸命粘土をこね、丁寧に形を整えました。仕上げは筆を使っての細かい作業で、自分だけのオリジナル陶器が見事に出来上がりしました。最後は、自分の作品をバックに記念撮影、ちよつと難しかったけど、楽しい陶器作りを体験しました。

園児の作品は、この後、陶芸家の方に焼き上げていただき、園児に手渡される予定です。出来上がりが待ち遠しいですね。



▲丁寧に動物を作る園児

おいしい給食を ありがとう

〜学校給食週間〜

学

学校給食週間の1月24日から30日に合わせて、市内の学校では、児童たちが食べ物や調理に携わる方へ感謝する催しが行われました。柏木小学校では、1月27日に、3年生の親子料理教室を開催。学校の菜園で栽培したニンジンなどをすりおろして入れたホットケーキを焼きました。自分たちが育てた野菜とあって、どの子も残さずいただきました。

また、週間中の学校給食には、食育畑で栽培された野菜など、いつもより多くの地産の食材を使用。他にも、甲賀流カレーコンテストの最優秀賞に輝いた「野菜たっぷりカレー」や、国際理解を深めようと「ブラジル料理」が登場しました。



▲ニンジン入りホットケーキを作る3年生親子 (柏木小学校)

特選・入選に市内から 16作品

〜県統計グラフコンクール入選作品展〜

県

統計グラフコンクールで入選した作品が1月17日から2月1日まで、水口図書館のホールで展示されました。小学生から一般までを対象に応募のあった1045点のうち、審査で選ばれた31点の優秀作品を展示。市内からは、特選に輝いた貴生川小1年坂口風華さんの「ほんはともだち」、甲南第一小4年荒井僚太さんの「エコバッグ使用状況大調査」をはじめ、16の作品が選ばれ、上位11点は全国コンクールにも出品されました。

どれも、現在話題になっているテーマを取り上げてあり、訪れた人は感心しながら作品に見入っていました。



▲見て楽しい統計グラフが並んだ作品展

手作りたこ 空高く舞う

〜山内小学校たこあげ大会〜

山

内小学校で1月28日、恒例のたこあげ大会が行われました。全校児童がこの日のために自分たちで作った、オリジナルたこを持ってグラウンドに集合。スタートの合図とともに一斉にたこをあげ、高さを競いました。

穏やかな日で、たこあげには、あいにくのコンディションでしたが、全力で走って自慢のたこが次々に空に舞い、歓声に包まれました。また、たこあげ終了後には、「こびすぎで賞」や、「アイデア賞」など、いろいろな賞の表彰が行われました。



▲オリジナルたこで競い合う児童

鬼にびっくり 負けずに豆まき

〜子育て広場おしゃべりサロン〜

柏

木公民館で1月27日、節分を前に豆まきが行われました。これは、未就学児を対象とした子育て広場おしゃべりサロンの催しで、季節の行事に親しもうと企画されたものです。

参加した親子連れは、節分にちなんだ話を聞いたあと、家庭教育サポーターの指導のもと、豆を入れる三方を折り紙で作りました。そこへ突然、赤鬼と緑鬼が登場。驚いて泣き出す子もいましたが、子どもたちは「鬼は外」と叫びながら、紙を丸めて作った豆を鬼めがけて勢よく投げていました。

昔から受け継がれてきた伝統行事、親子がふれあいながら家庭でも体験したものです。



▲鬼に向かって元気に豆をまく子どもたち